

| |
|--|
| 沖縄のモータースポーツ振興のため |
| 山野哲也選手のファンからジムカーナ始めた。 |
| 毎回コースが変わるので飽きない |
| レースをやるには A ライ。A ライとるには B ライが必要。ジムカーナって言う競技に参加すれば B ライすぐ取れるよ。と教わり、そのままジムカーナにのめり込みました。 |
| サービス員として頼まれている為 |
| 1人で出来る手軽さ(レースやラリーの様に、スタッフを集めなくても出来る) |
| 運転技術の寄与率が高いモータースポーツだから |
| たのしいから これがいちばん |
| ライバルに勝った時の感動と達成感を得たい。何も大した趣味の無い人生を送るのと比べて、何百万円もかけてバカバカしいと思う面もあるが、間違いなく人生が豊かになる。 |
| サービス員誘われて |
| 始めたキッカケは遥か昔、峠を走っていた頃にジムカーナ車両にその峠でぶっちぎられた事で峠でやられたから、ジムカーナでやり返してやると思ったこと。その時運良くジムカーナの主力車種に乗っていたのもスッと入れた要因。入れた事と続けることが出来た理由は、特に裕福でもなく資産も持たぬいちサラリーマンでもなんとか出来そうなコスト感だったこと。ラリーやワンメイクレースとかになるともう無理。 |
| 身近にジムカーナ選手の多い環境がある |
| JAF公認競技でサラリーマンが全日本タイトルを獲得できる数少ない競技だから。 |
| 主にサービスでの参加。 |
| 若いころにラリー屋さんで運転指導を受けていた時に未舗装の谷沿いの道を一晩中走り、翌朝谷底が遠くすこし怖いと感じたため、競技場で走るジムカーナに興味を持ちました。当時から4半世紀過ぎた今ではヒルクライムに参加していますが、競技場は安心感が違います。むしろ街乗りの一般道の方が怖いと感じるほどです。 |
| 自社製品がモータースポーツユースでどんな課題があるか確認したいから。 |
| トップドライバーとの交流、ショップ代表としての情報収集(車両作製、イベントの進行、観客、その他全般) |